

画像→SU 人物コンポーネントの作成

- ・ 画像データを準備し、PhotoShopなどで開く



- ・ 投げ縄ツール、多角形ツール、自動選択ツールなどで人物を切り抜く



- ・細かい部分をクイックマスクモードで切り抜き編集する



- ・クイックマスクモードを終了し、選択範囲を保存しておく。また、レイヤが背景になっているので「背景からレイヤーへ」変更する。



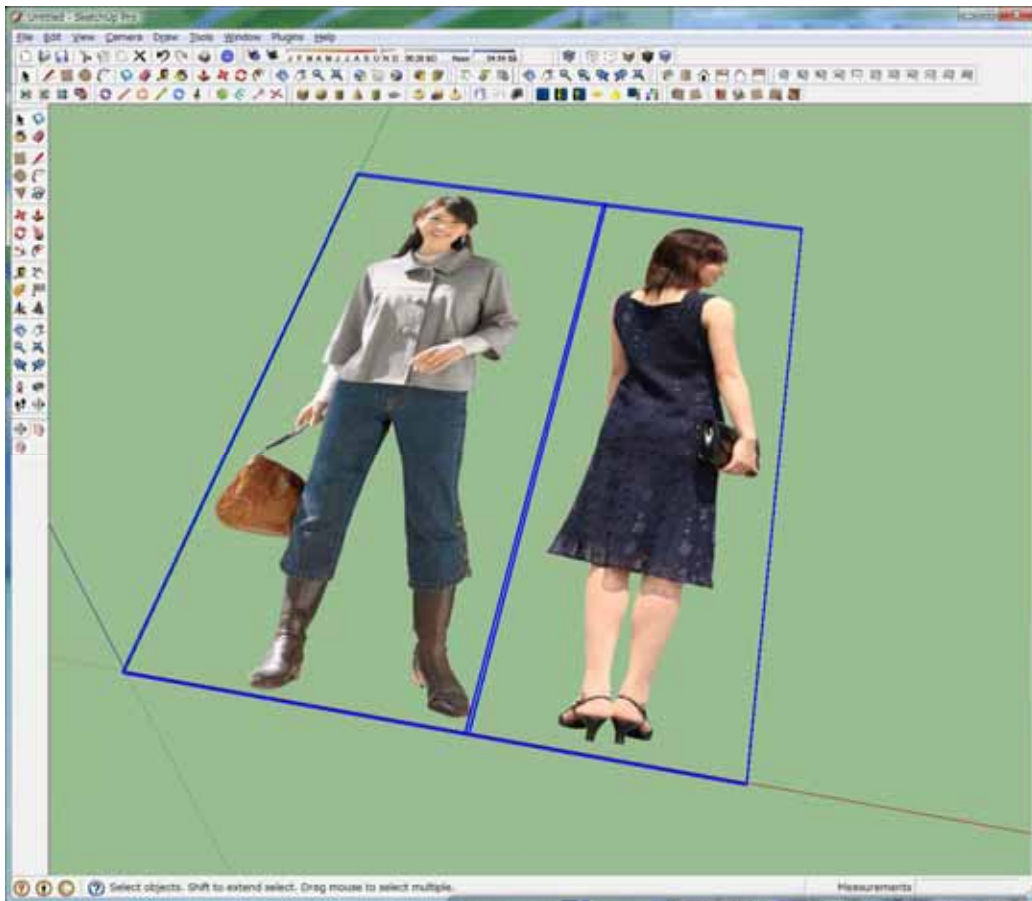
- ・ 選択範囲を反転させ背景を消去する。



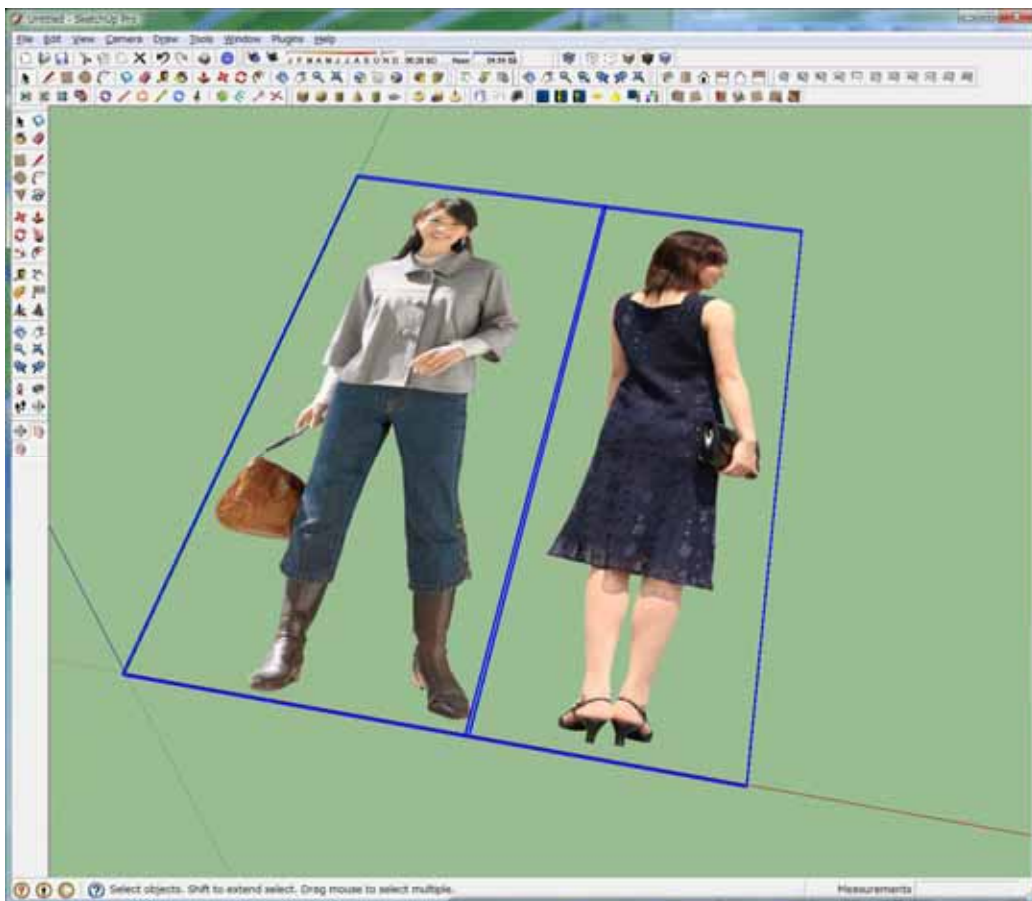
- ・ png データで保存する



- ・ SketchUP で png データをインポートする



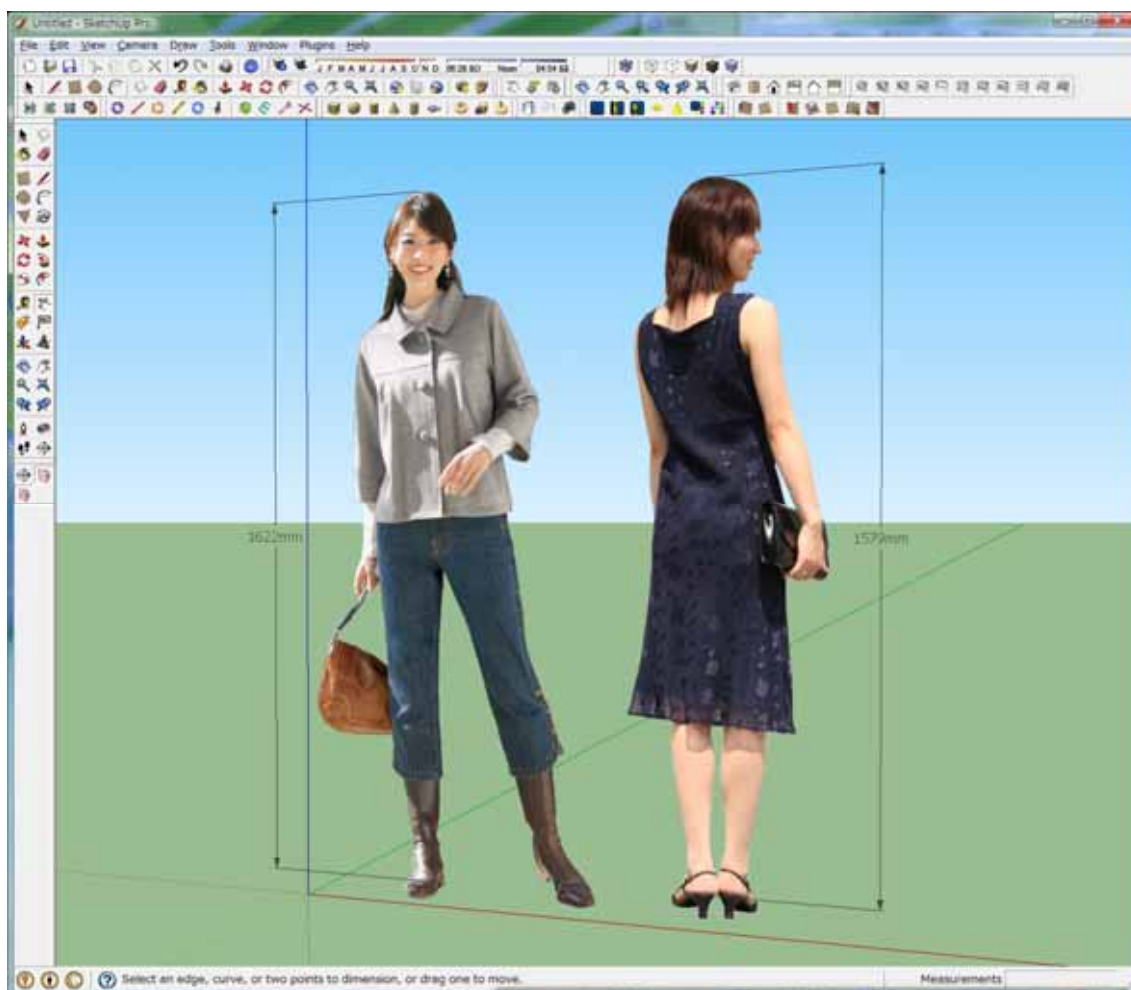
- ・ 90° 回転させる



・SketchUP でインポートしたデータを測定コマンドで身長を測定し適正な大きさに変更する。

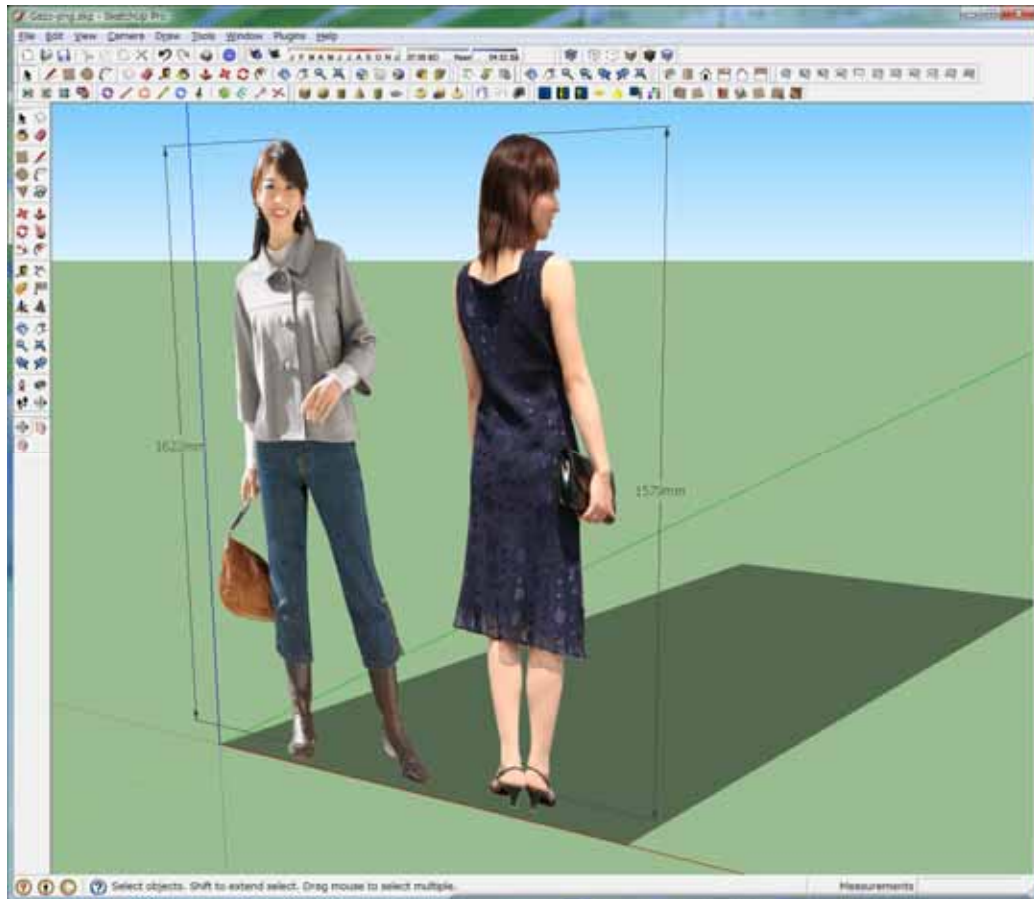
(以下の表を参照 参照 URL <http://www.pure-supplement.com/shintyo/002.html>)

(平成 20 年度学校保健統計調査)		
	平均身長 (男性)	平均身長 (女性)
17 歳	170.7cm	158.0cm
16 歳	170.0cm	157.7cm
15 歳	168.3cm	157.3cm
14 歳	165.4cm	156.6cm
13 歳	159.8cm	155.1cm
12 歳	152.6cm	152.1cm
11 歳	145.3cm	146.8cm
10 歳	138.9cm	140.3cm
9 歳	133.7cm	133.6cm
8 歳	128.2cm	127.5cm
7 歳	122.5cm	121.7cm
6 歳	116.7cm	115.8cm
5 歳	110.8cm	109.8cm



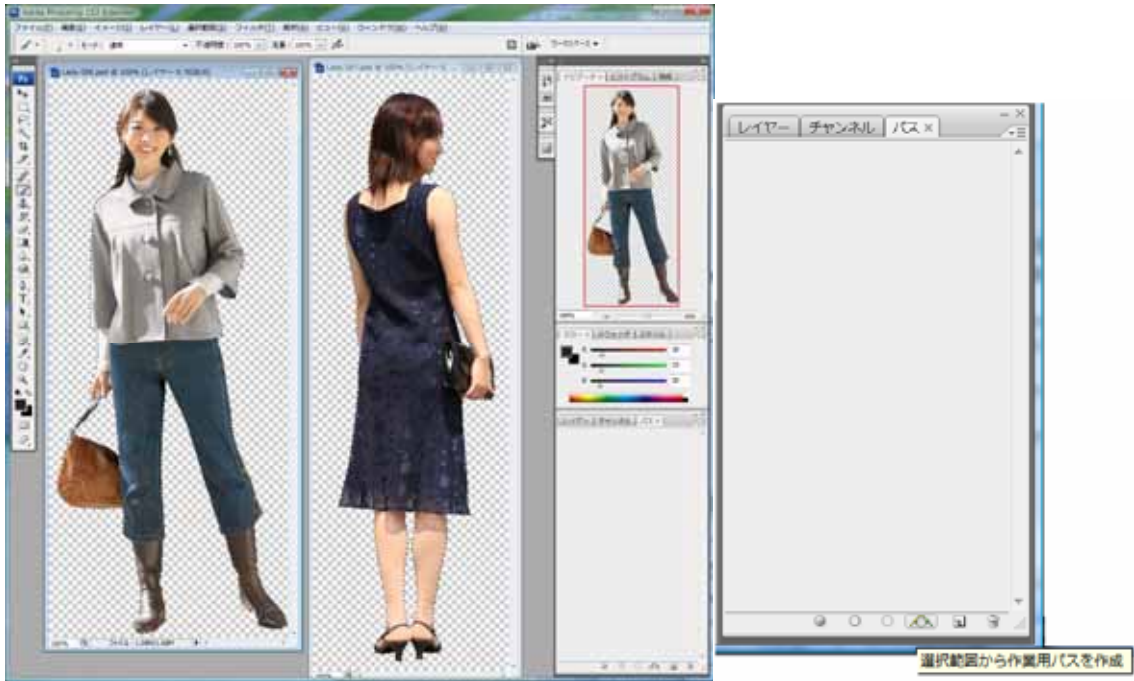
このままだでも使用できるのだが、影を表示してみよう。

- ・ png データは透過画像になっていて背景が透けて見えるのだが影を表示すると長方形になっている。

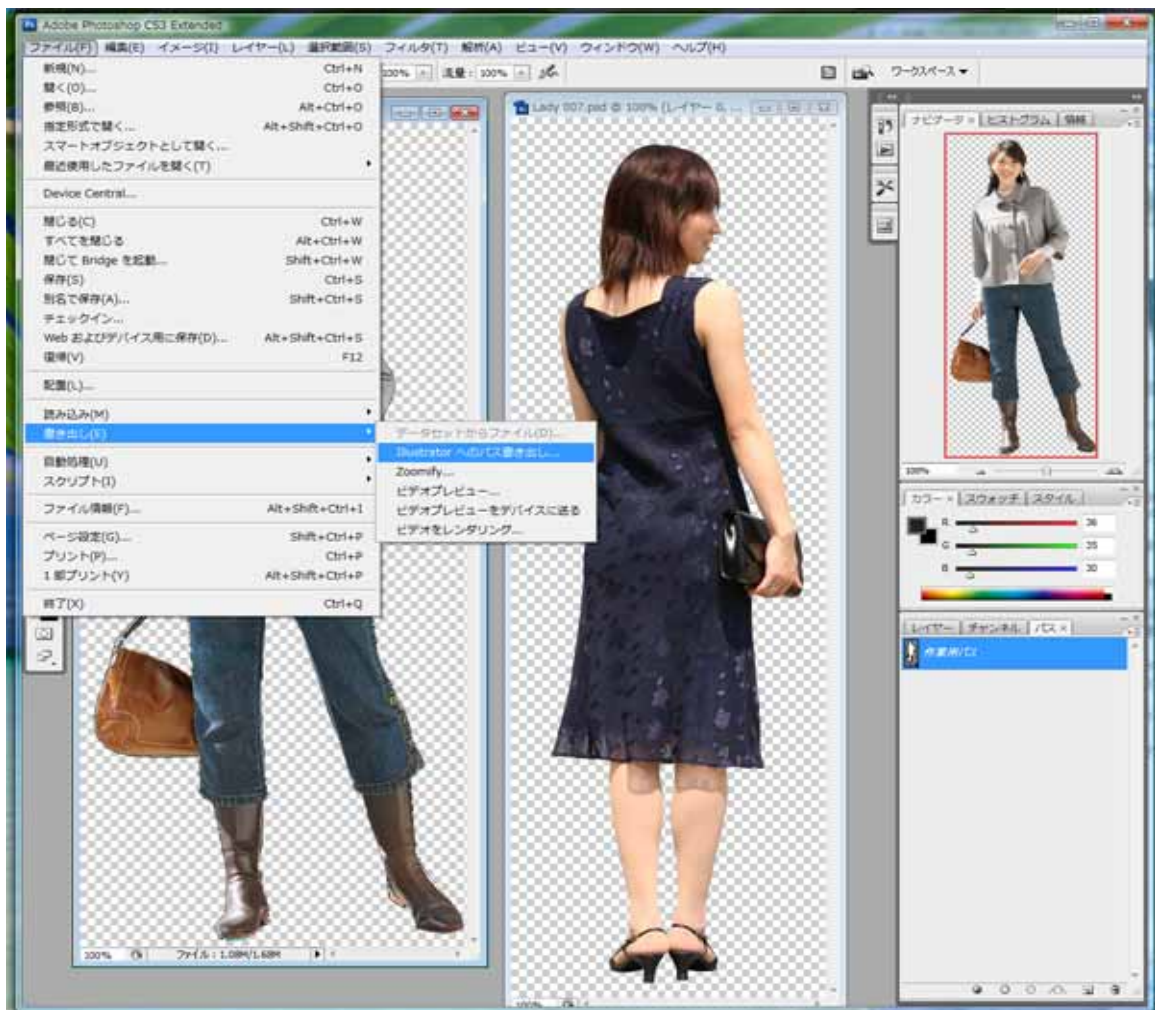


- ・ 次は影が適正に表現されるようにしてみる。

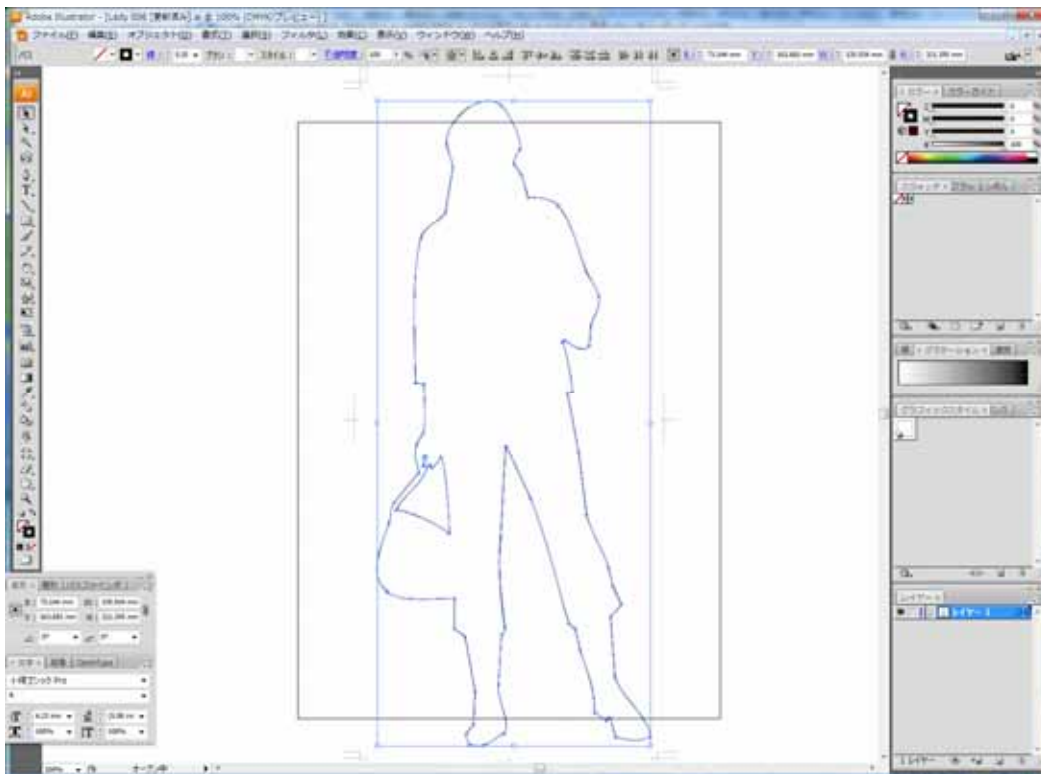
- ・ PhotoShop で選択範囲を読み込みパスを作成する。
 パスタブをクリックし、下の方にある、作業パスの作成を選びます。



- ・ PhotoShop でパスを Illustrator へ書き出す。

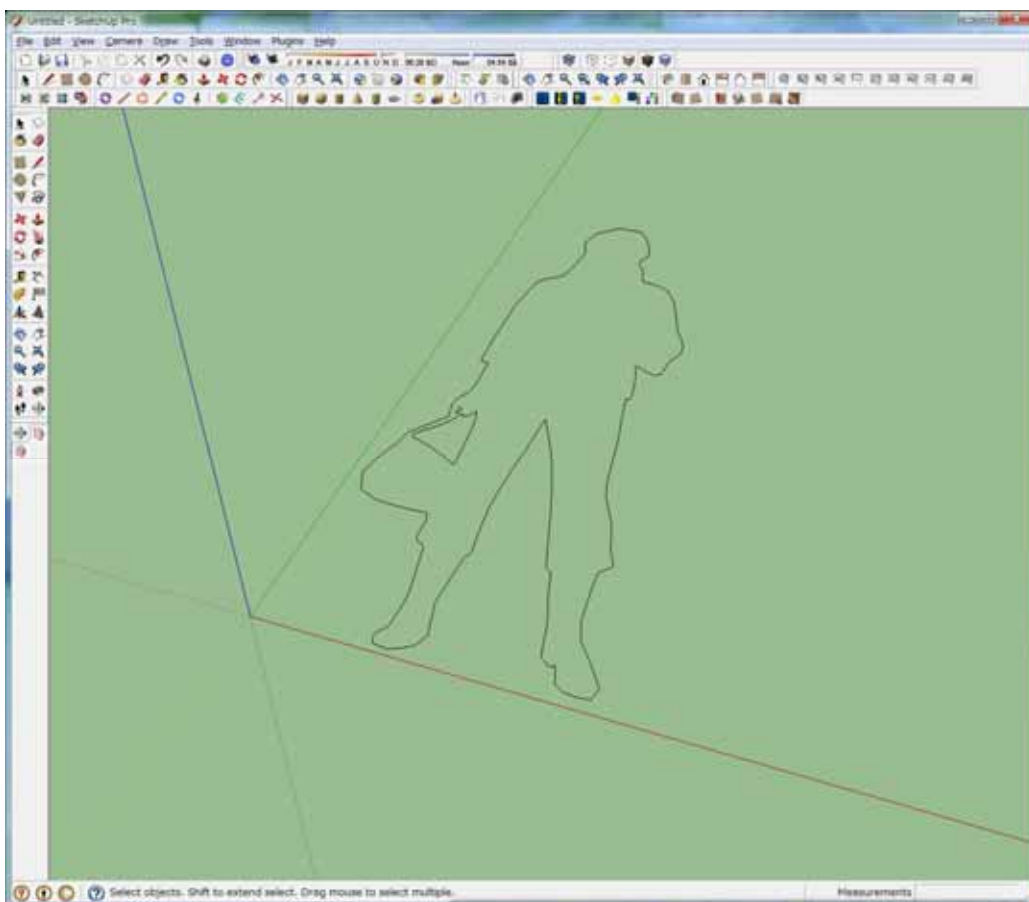


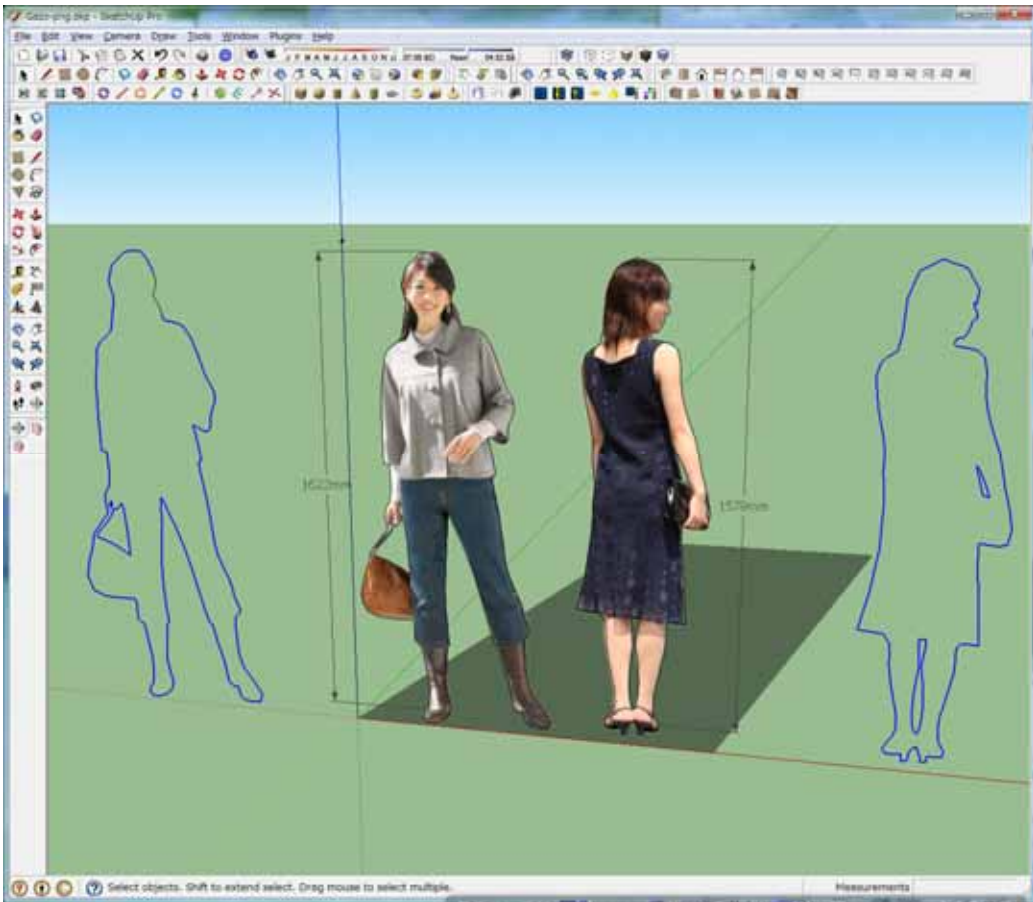
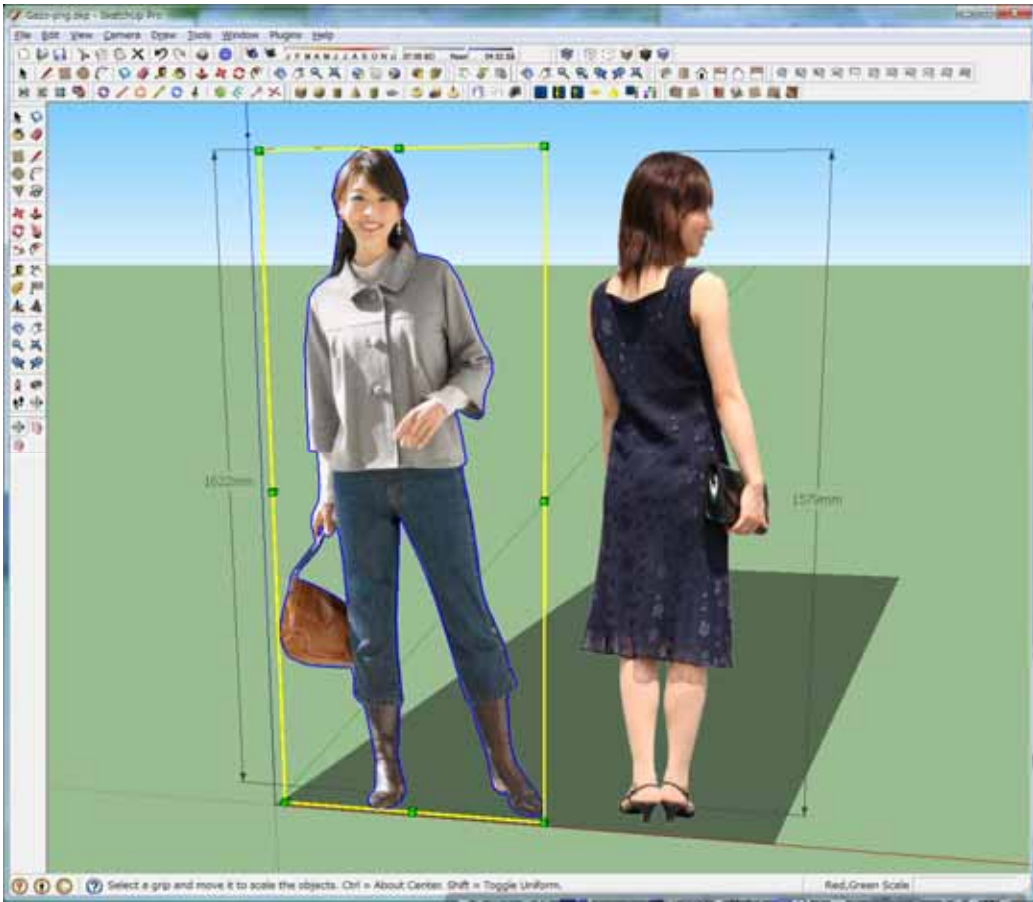
- ・ Illustrator で開いて色を変更する。



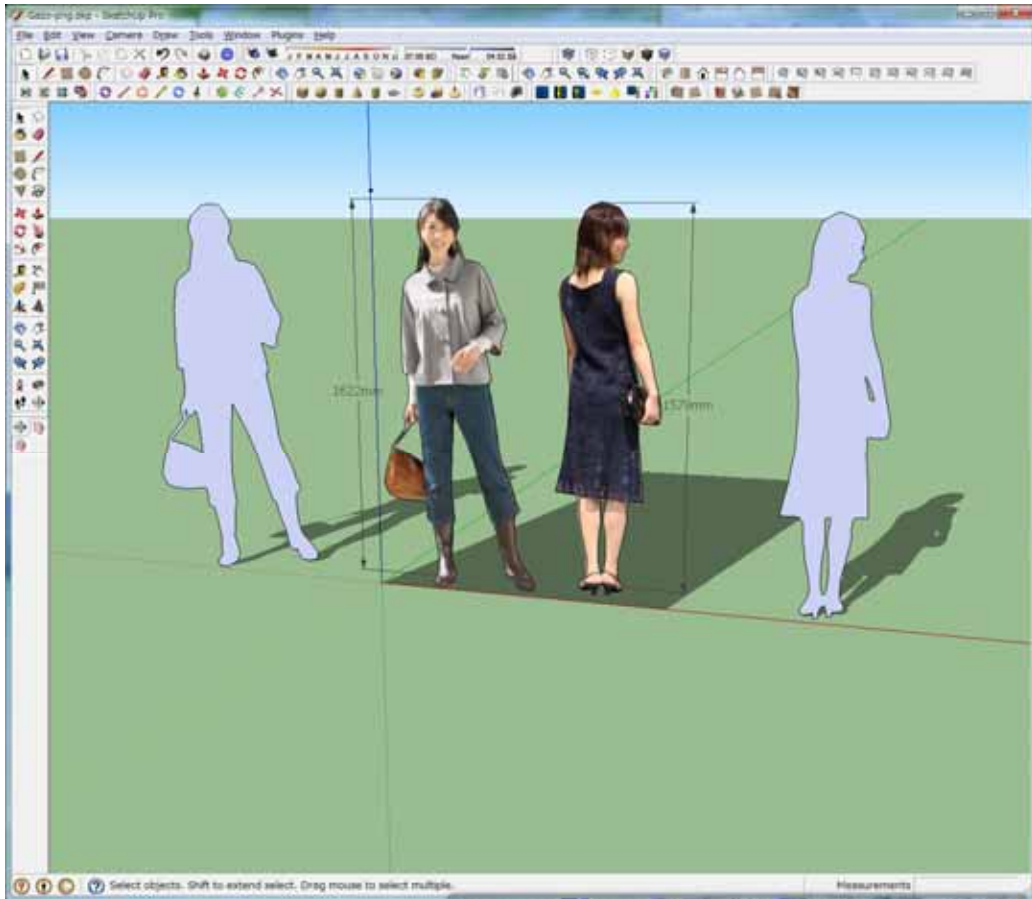
- ・ Illustrator でパスの色を変更し DWG or DXF で書き出す。

- ・ SketchUP で png データを DXF データをインポートし大きさを調整して重ね合わせる。
(パス線は Outline としての点景に利用できるのてコピーしてコンポーネント化)

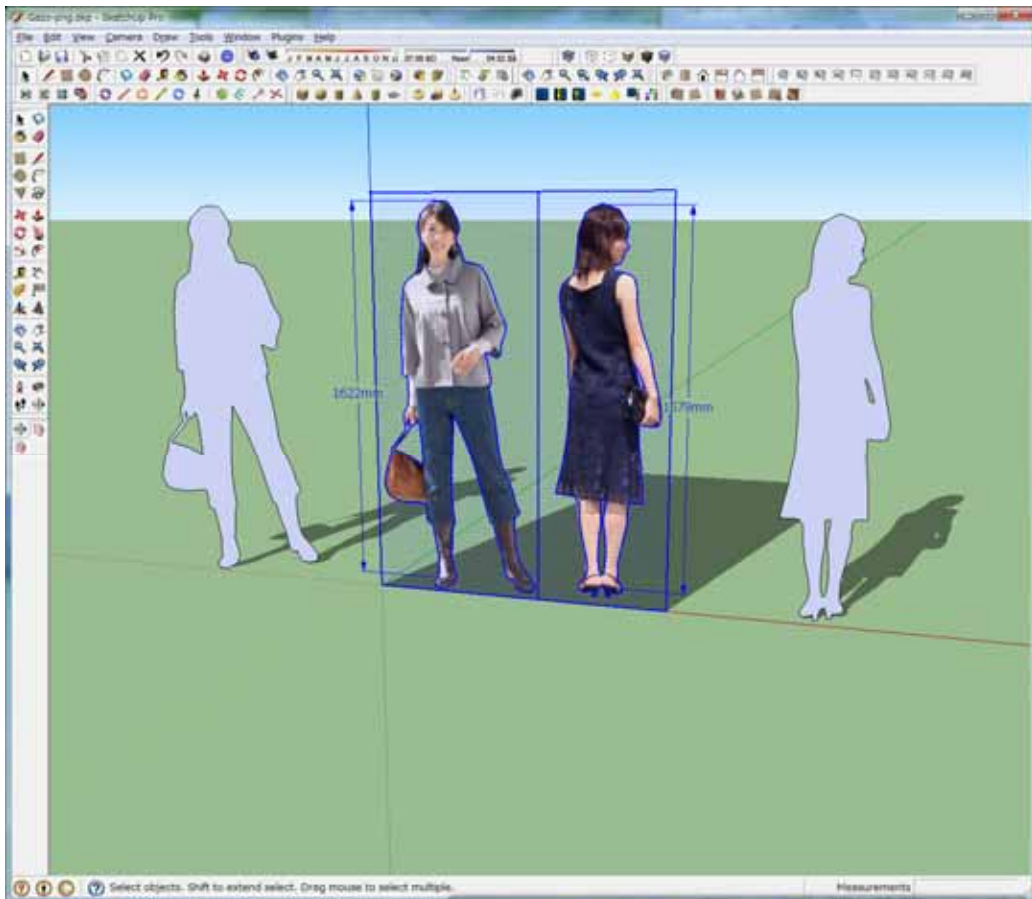




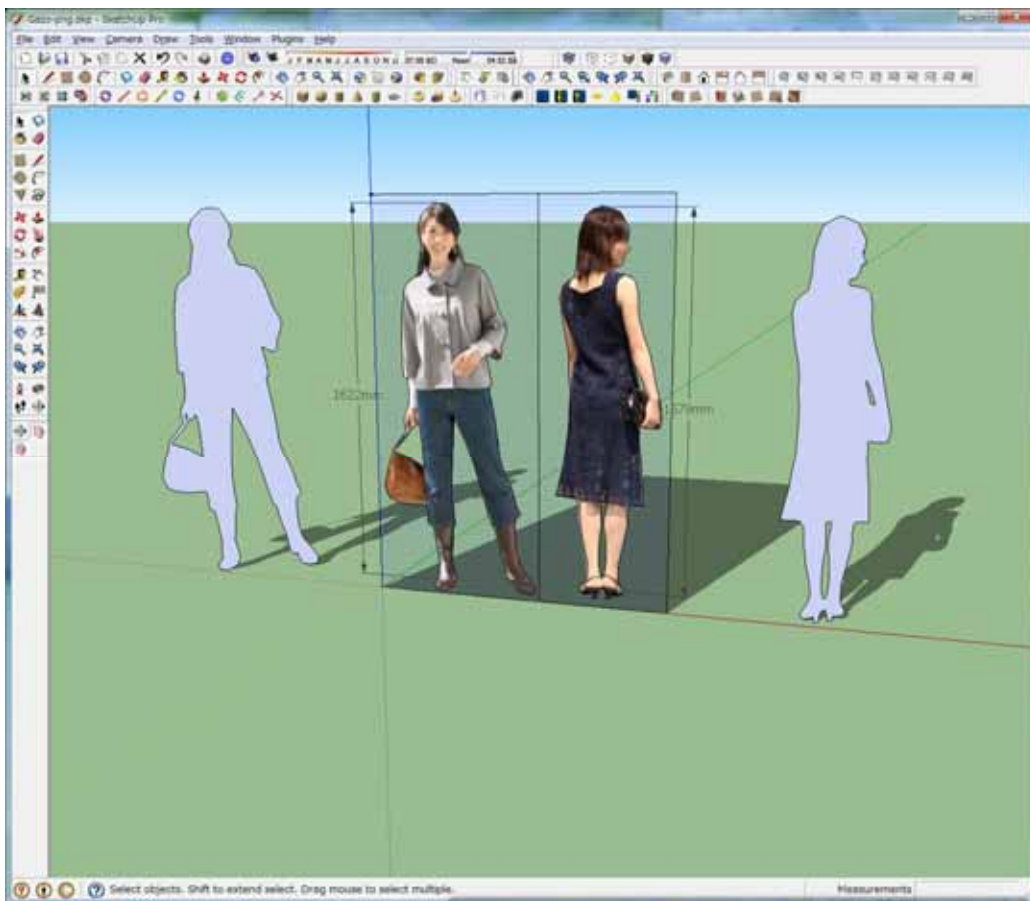
- Outline に面を作成しコンポーネントを作成する。



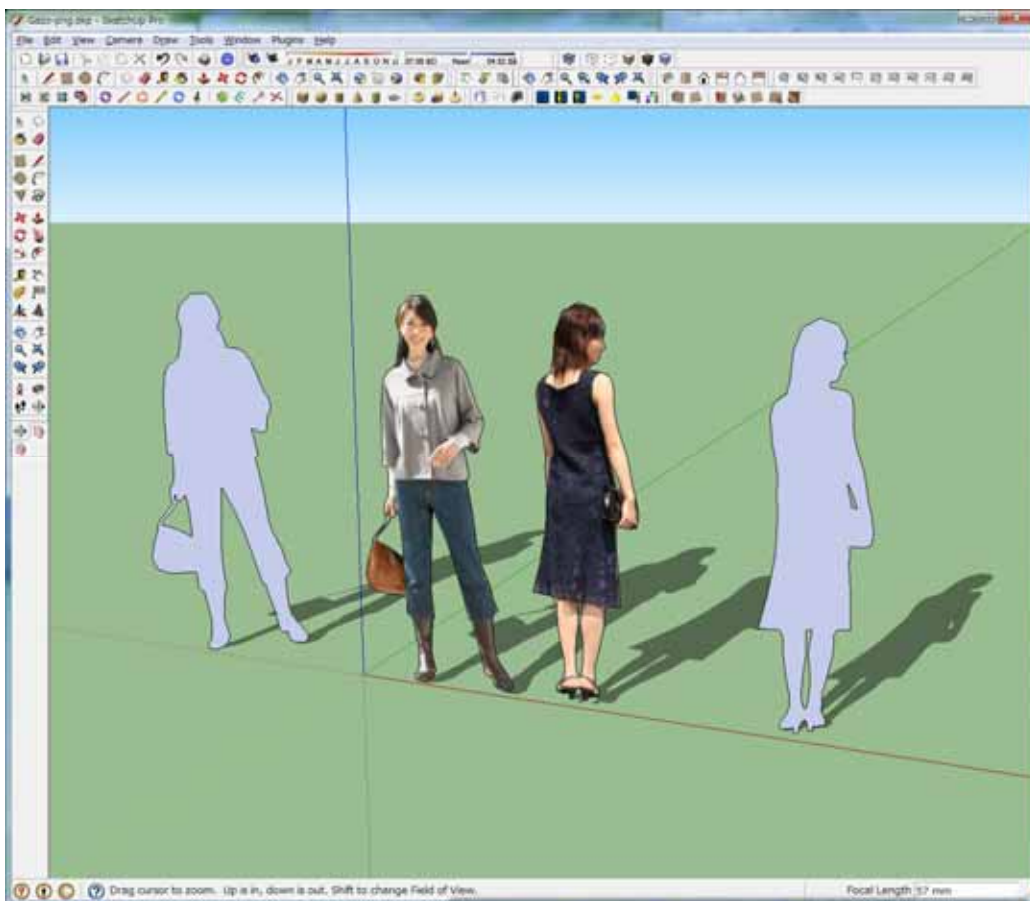
- Png データの画像をそれぞれを分解する。



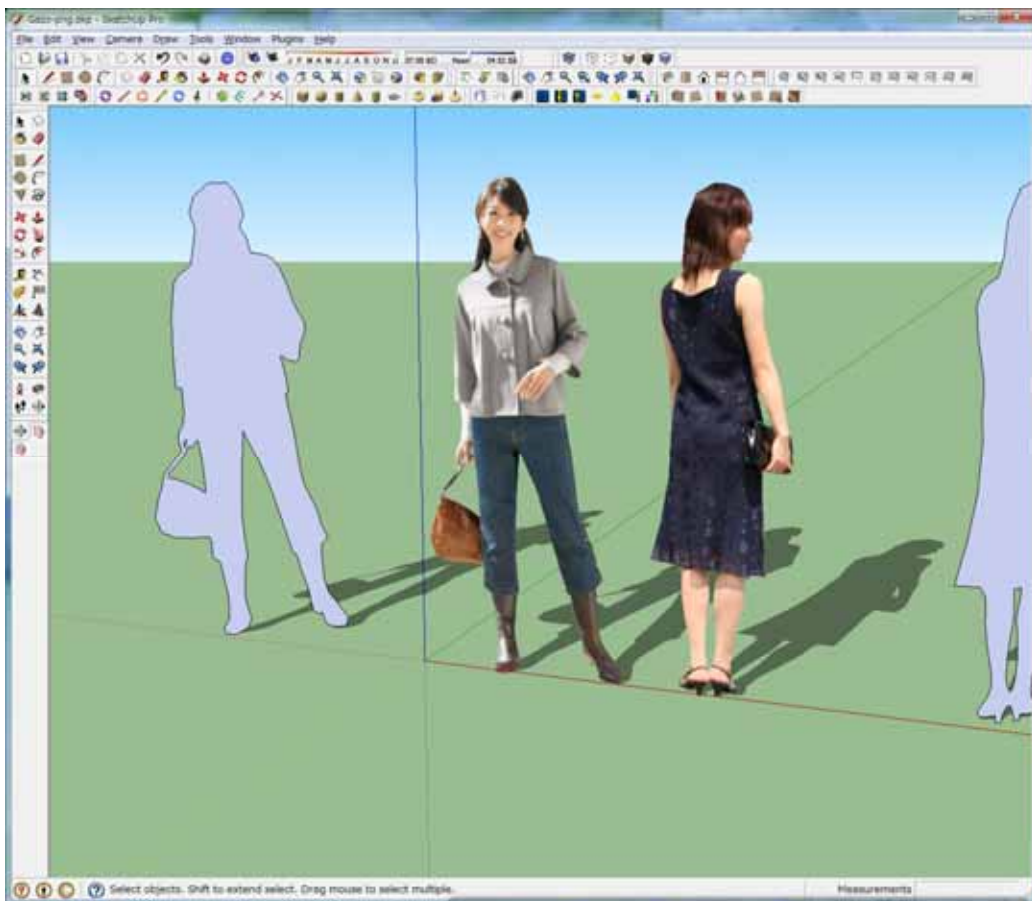
- ・全てを選択肢 **Intersect** する。(人物と透過部分の面が分離されている)



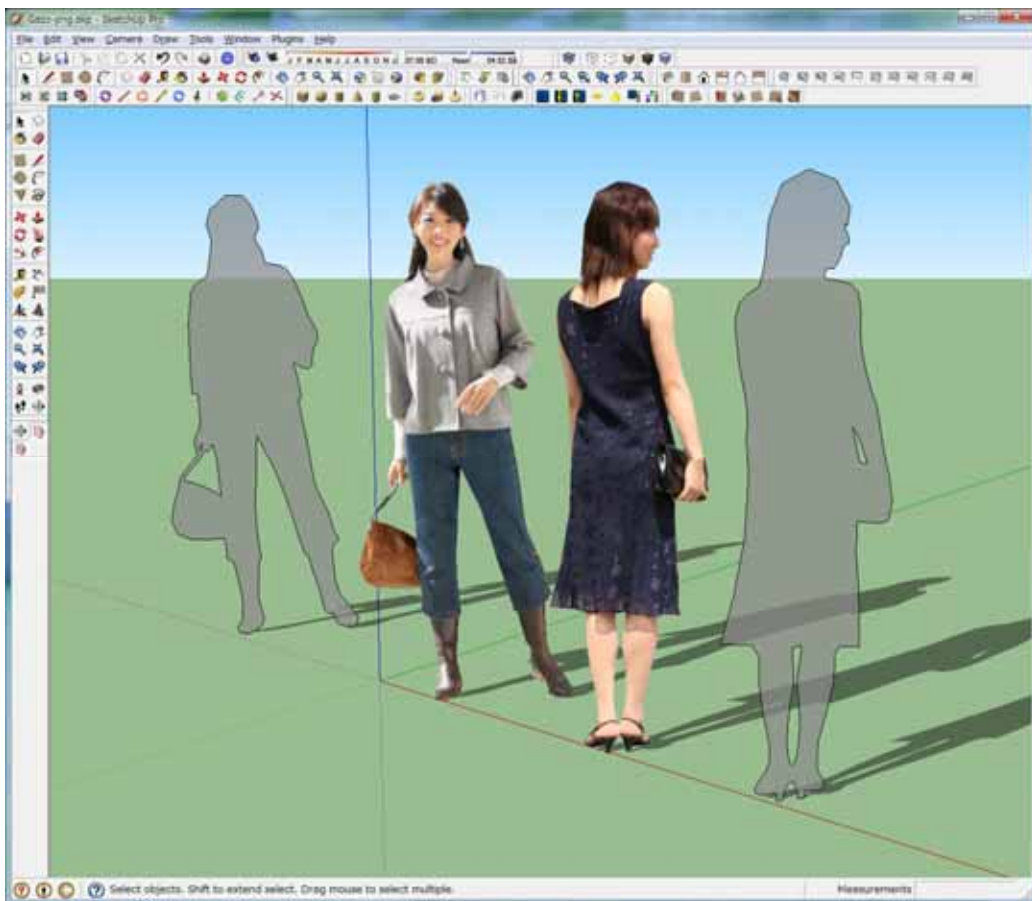
- ・人物の矩形部分の外郭線を削除する。
(面が作成されていないと全て削除されます)



- ・人物のアウトラインは消しゴムツールを使用し「Shift」キーを押しながら削除する。



- ・出来上がったオブジェクトを選択しコンポーネント化する。



- ・完成